

# 高度選別可能な新テストセンターを開設

## サナースが千葉県富津市に 欧州の高性能選別機器を設置

ドイツを中心とする欧州で開発された環境リサイクル関連の破碎機・選別機・林業機械の他、マテハン機・港湾荷役機械の提供を行うサナース(横浜市)はこのほど、千葉県富津市にリサイクルのための新テストセンター「サナース ソーティング ラボ」(SSL)を開設し、同社が販売する高性能選別機器による選別テストの受け入れを開始した。同社はこれまで2018年に開設した木更津マシンパーク(千葉県木更津市)内に、選別機器のテストセンターを設置して金属およびプラスチック等の選別テストを実施してきたが、近年の顧客からの高度選別ニーズの高まりを受け、より効率的でより高度な選別プロセスを検証、提案できる体制を整えるために、木更津マシンパークの一部の選別機器を移設した。

新たに設置したSSL 同社プラントシステム 備を整えているところでは今後、顧客から持ち 事業部の雨宮望主任は、ろは少ない。サー込まれるサンプル材料を 「当社はストリーミング (定量供給)、スクリーニング(粒度選別)、セグリーゲーション(分別)、ソーティング(仕分け)の4Sを重視した提案を行っている。この4つの重要な工程の最適化を検証できる施設になっている。日本では風力選別機や光学選別機などを導入するところが多いが、最初の定量供給の部分の設

トを提案していく。設置設備は、シュタイナート社(ドイツ)製の光学選別機「KSSコンピネーションソーター」、過電流選別機「エディシー」、ドラム型選別機「MOR」、近赤外線選別機「ユニソートシリーズ」、シュパレック社(ドイツ)製の3Dスクリー選別機「コンピスクリーン」、ニホット社(オランダ)製の循環式風力選別機「ウィンドシフター」となっている。雨宮氏は「欧州トップブランドの製造を揃えているので、どうしても価格は高いものになってしまいが、ここに来て実際に見てもらえば、やはり高いだけのことはある設備であることを実感してもらえると自信している。それぞれの機械を単体で導入している企業は日本にもあるが、リサイクルまでの全ての機械が揃っていて実際の生産工程に近いことができるの

はSSLが日本で唯一だ。顧客に材料を持ち込んでもらえば、どれだけの品質の製品製造が可能かを実証できる。従来メーカー等では『この機械ではここまでできる』といった提案をしているが、当社では『ここまで分ければ事業として成り立つ』といったところまで想像できるような提案が可能なのが強みとなっている」とする。

すでに多くの企業から問い合わせが来ているという。今後必要に応じて、導入設備を拡充していく考えだ。



SSLでは顧客のサンプル材料を用いた選別機器の性能確認や選別プロセス最適化の検証実験などを行う

わけにより プロセスの比較検討ができることを重視している。3月頃にはプラスチックなド非金属材料に特化した機器の移設も完了する予定で、同社が主力とする欧州製の高性能選別機器の組み合わせによる機動性の高い選別テスト

なお、既存の木更津マシンパークは、環境機械のショールームとなっている。また、交換用部品の備蓄倉庫や、設備修理機能なども備えている。



既存の木更津マシンパークは、環境機械のショールームとなっている